

2025

5.28 (水) 12:10
12:50

12:10-12:15

◆ 演者紹介

12:15-12:40

◆ プレゼン

12:40-12:50

◆ 質疑応答

オンライン
(Zoom)

登録はこちら▶▶

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_oQBmDhZTSWKh9k45ZJztow

【技術支援】九州大学 Q-AOS

現代病としてのアレルギー疾患と、 その治療法の提案



Key Words

アレルギー

森 健 教授

工学研究院 応用化学部門

1974年 長崎県生まれ

2001年3月

九州大学大学院工学研究科材料物性工学専攻博士課程修了(前田瑞夫教授)

1999年4月~2001年3月

学術振興会特別研究員

2001年4月~2005年10月

徳島大学工学部化学応用工学科 助手(増田精造教授・南川慶二准教授)

2005年11月~2013年4月

九州大学工学研究院応用化学部門 助教(片山佳樹教授)

2008年10月~2009年9月

デューク大学医用工学科 客員研究員(Chilkoti 教授)

2013年5月~2025年3月

九州大学工学研究院応用化学部門 准教授(片山佳樹教授)

2018年4月~2019年3月

京都大学エネルギー理工学研究所 客員准教授

2020年10月~2025年3月

学術変革A「物質共生」総括班

2024年2月~現在

株式会社 TOLERO bio CTO

2025年4月~現在

九州大学工学研究院応用化学部門 教授

受賞

2010年5月 高分子学会奨励賞「合成高分子を用いたタンパク質相転移現象解明へのアプローチ」

花粉症や食物アレルギーをはじめとするアレルギー疾患の患者数は、世界的に増加している。アレルゲン免疫療法は、アレルギーを根治しうる治療法であり、我が国では、スギ花粉症とダニアレルギーに対して、舌下投与用の製剤が承認されている。それに対して、欧米では多種多様なエアロアレルゲンに対する注射剤と舌下剤が承認されており、日本は遅れた状況にある。一方、食物アレルギーの治療は、アナフィラキシーのリスクが高いため、エアロアレルゲンの治療に比べて一般化されておらず、特定の病院でのみ行われている。私の研究では、エアロアレルゲンや食物アレルゲンに対して、アナフィラキシーの心配がなく、かつ効果の高い製剤を目指している。